

令和4年5月吉日

(一社) 岡山県作業療法士会 会員 各位

(一社) 岡山県作業療法士会

会長 西出康晴

事業部部長 古澤潤一

(一社) 岡山県介護支援専門員協会

会長 堀部徹

介護支援専門員と作業療法士の合同研修会
認知症の方の生活行為向上の視点を共有し連携に繋げよう

拝啓 新緑の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

我々作業療法士は、地域包括ケアシステムに貢献する為、生活行為向上マネジメントというツールを利用して対象者の活動と参加に焦点を当て、対象者が住み慣れた地域で生きがいと役割を持って自立した生活を送ることができることを目指しています。その為には、介護支援専門員との連携が不可欠となります。当士会では、介護支援専門員協会と合同研修を企画し、生活行為向上の視点で連携強化が図れるようになることを目的に様々なテーマで毎年研修会を実施してきましたが、今年度の研修会では、認知症について取り上げます。

作業療法士は、病気の理解、その人らしさや環境など様々な視点で認知症の方をサポートし、できることを最大限に引き出すことができる職種です。できないことに目を向けるのではなく、できることに目を向けて目標設定を行うためには、介護支援専門員との連携が不可欠です。本研修では、認知症の方の生活行為向上の視点を整理し、認知症の方が利用できるサービスや制度を学びます。また作業療法士と介護支援専門員が連携した事例の提示やグループワークを通じて、明日からできる連携につなげていきたいと思えます。認知症があっても、地域で生きがいと役割を持って生活する為に、作業療法士と介護支援専門員で一緒に考える機会になればと思えます。

敬具

【主催】 (一社) 岡山県作業療法士会、(一社) 岡山県介護支援専門員協会

【日時】 令和4年8月25日(木) (受付12時半～) 13時～15時15分

【研修形式】 ZoomによるWEB研修会

【内容・講師】

1. 認知症の方の生活行為向上の視点、目標設定のポイント
講師：徳地 亮 先生（川崎医療福祉大学 作業療法士）
2. 認知症の方の利用可能なサービスを知ろう
講師：二宮 崇 先生（居宅介護支援事業所アール・ケア 介護支援専門員）
3. 事例提示 ～認知症の方の生活行為向上を目指した連携～
講師：大森 大輔 先生（北川病院 作業療法士）
4. 作業療法士と介護支援専門員のグループワーク
テーマ：『認知症の方の在宅生活を支援する為に明日からできる連携の工夫を考えよう』
ファシリテーター：尾藤 真奈美（倉敷リハビリテーション病院 作業療法士）
5. 質疑応答

【定員】 制限なし

【対象】 作業療法士、介護支援専門員

【参加費】 無料

【申し込み方法】 岡山県作業療法士会ホームページ研修会案内よりお申し込み下さい。

【締め切り】 令和4年8月16日（火）

【連絡事項】 8月23日までに研修参加者に本研修のZoomの招待URL、ミーティングID、パスワードを申し込み時ご登録されたメールアドレスに送らせていただきます。連絡がない場合は以下連絡先までご連絡ください。

キャンセルされる場合も事前にご連絡ください

【問い合わせ先】

問い合わせ先：しげい病院 リハビリテーション部 作業療法士 小坂美江

電話：086-422-3655

mail：shot@shigei.or.jp